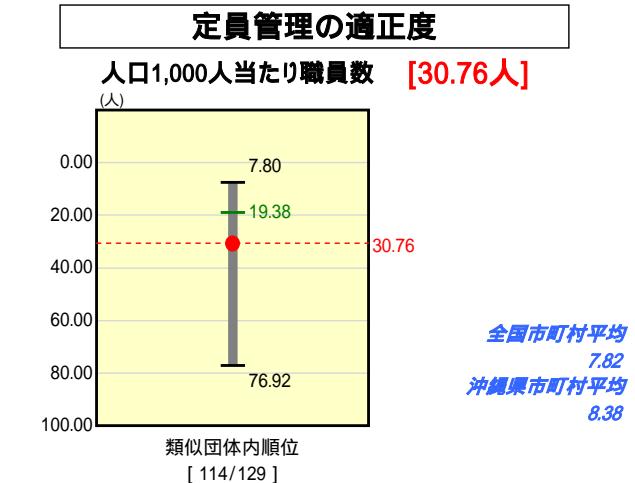
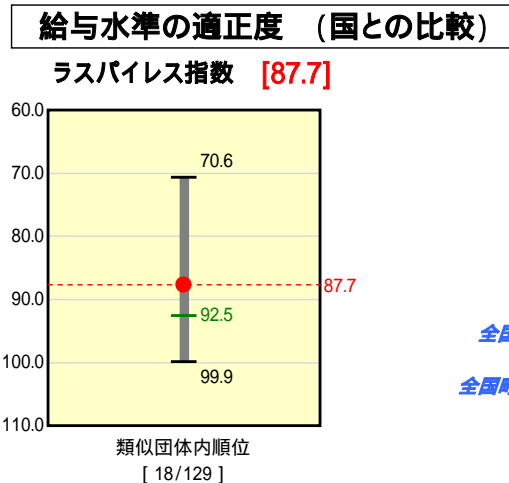
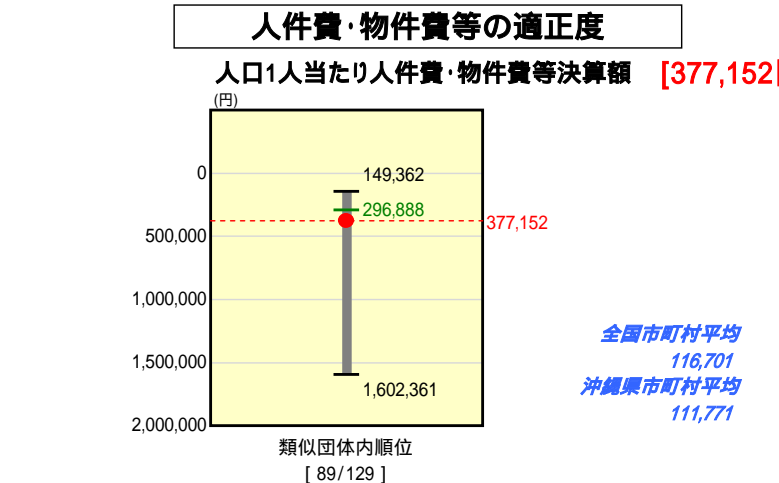
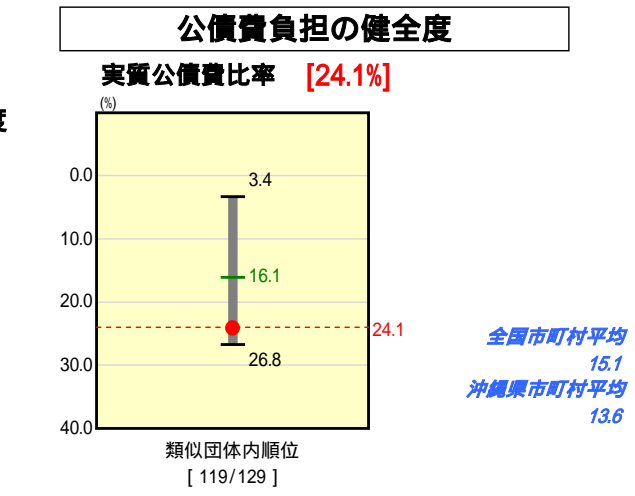
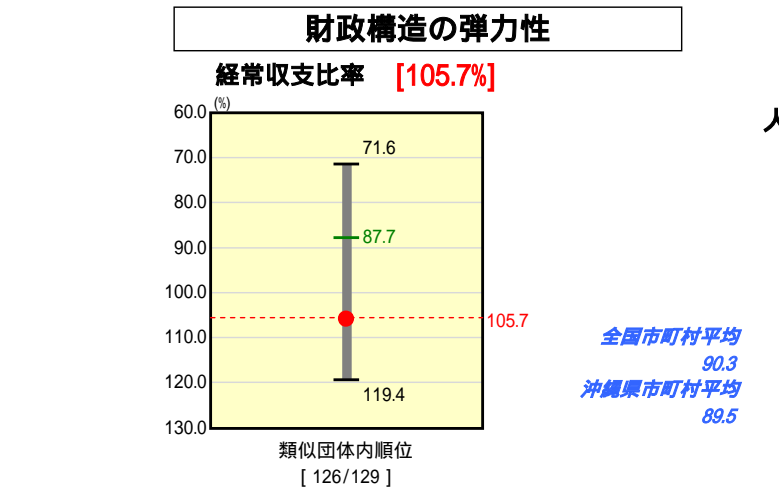
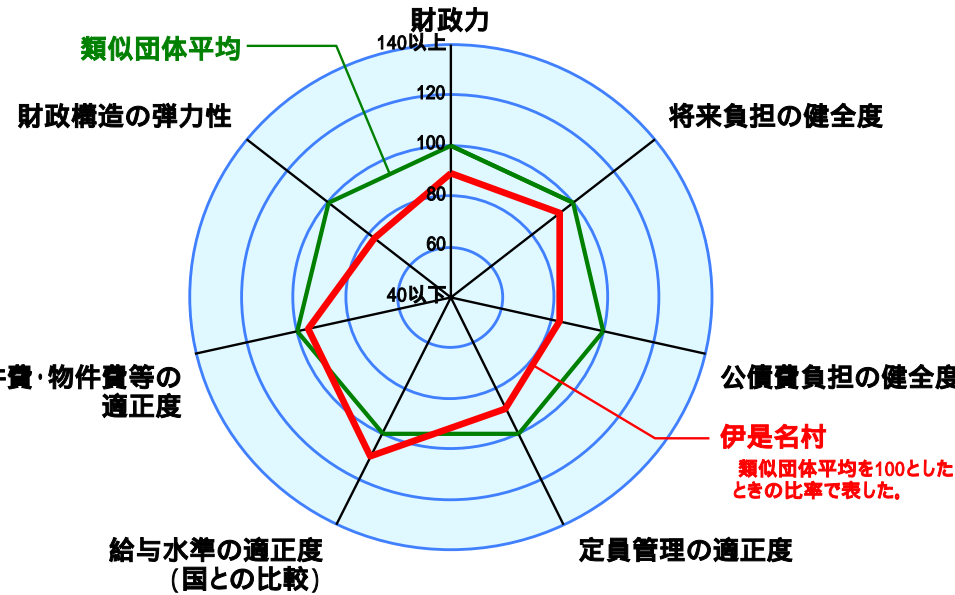
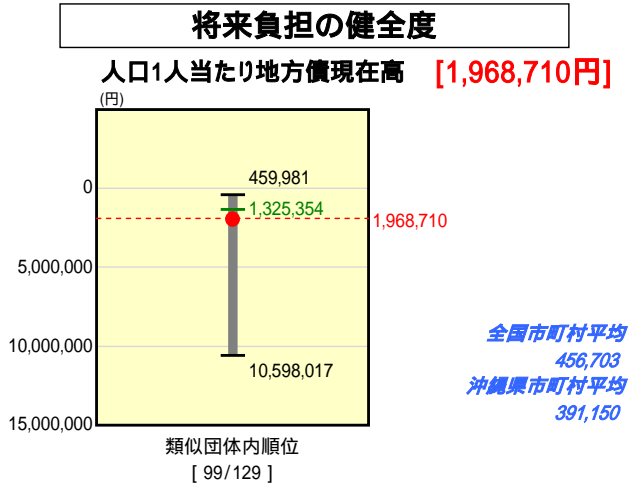
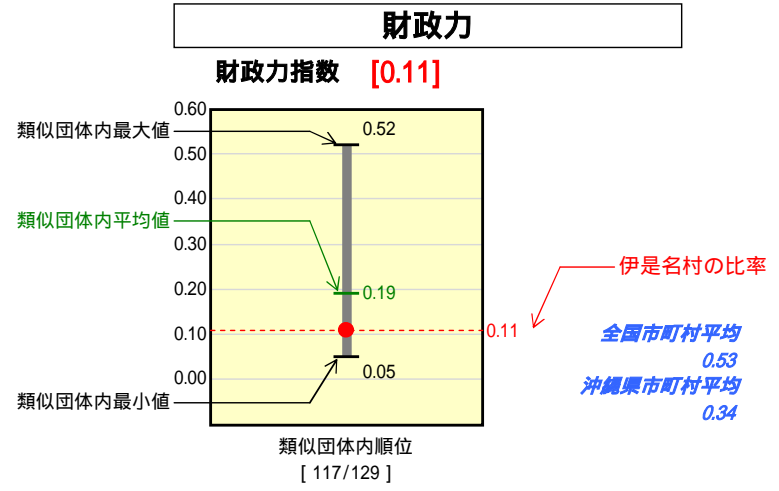


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

沖縄県 伊是名村

人口	1,788人	(H19.3.31現在)
面積	15.42	km ²
歳入総額	2,249,830	千円
歳出総額	2,232,017	千円
実質収支	17,616	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 3年前から数値に変化がないことから伺えるように、村の経済構造に特に変化がなく財政基盤も弱いままであり、類似団体平均値を下回っている状況である。

経常収支比率: 普通交付税等の経常一般財源の総額が減少したうえ、人件費及び公債費等義務的経費の支出が依然として高額なため、経常一般財源充当比率が高くなり、数値の悪化を招いている状況である。今後は「集中改革プラン」に掲げたとおり、新規採用の抑制など義務的経費の削減に努め類似団体平均値を目指す。

ラスパイレズ指数: 国・県に比べると満足のいく数値ではない。しかし、類似団体と比較すると高い数値となっている。平成16年度より、財政事情に鑑み、職員手当等をカットするなど人件費の抑制措置をおこなっている。

実質公債比率: 公債費自体は減少傾向にあるものの充当一般財源総額が増加傾向にあるため、数値は類

似団体平均値を上回り悪化傾向にある。当分の間、その傾向が続く見込みであるので、単年度起債額を抑制するなどの措置をとり数値の改善につとめていく。

人口1人当たり地方債現在高: 過去の大型起債により残高は、まだまだ類似団体平均値を上回っている。しかしながら、近年の単年度起債額の縮小により数値は、年々減少している状況である。

人口1,000人当たり職員数: 1,000人当たりの職員数は、類似団体平均値を上回っている。「集中改革プラン」に基づく退職者不補充により類似団体との均衡を図っていく。

人口一人当たり人件費・物件費等決算: 1人当たりの金額が類似団体平均値を僅かに上回っているのは、職員の構成年齢に偏りがあるため、人件費が高くなっているのが要因である。